

2年生 国語の学習の進め方

通知票の見方

○三つの評価の観点、ABCの目安は次の通りです。

A…とても良くできる B…まずまずできる C…一層の努力が必要

①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

②思考力、判断力、表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

③学びに向かう力、人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。

○五段階の評定は、このABCを元に算出します。Aを3点、Bを2点、Cを1点として、合計が9→5、8→4、7・6・5→3、4→2、3→1が基準になります。

1学期の学習

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○詩「虹の足」 | ○話す・聞く「質問する力をつける」 |
| ○小説「タオル」 | ○文法の小窓「活用のない自立語」 |
| ○書く「新聞の投書を書く」 | ○漢字の広場「間違えやすい漢字」 |
| ○説明「日本の花火の楽しみ」 | ○説明「水の山 富士山」 |
| ○話す・聞く「説得力のある提案をする」 | ○言葉の小窓「敬語」 |
| ○書く「構成を明確にして手紙を書く」 | ○言葉と社会「社会で求められている表現」 |
| ○読書「夢に跳ぶ」 | ○言葉の小窓「話し言葉と書き言葉」 |
| ○話す・聞く「観点を明確にして伝える」 | ○書く「SNSから自由になるために」 |
| ○「脚本で動きを説明する」 | ○漢字の広場「漢字の成り立ち」 |
| ○書写「硬筆」 | |

2学期の学習

- 総合（SDGs）持続可能な未来を創るために
- 説明「紙の建築」
- 文法の小窓「活用のある自立語」
- 古文「随筆の味わい」枕草子・徒然草
- 漢文「二千五百年前からのメッセージ」孔子の言葉
- 読書「坊ちゃん」
- 小説「夏の葬列」
- 漢字の広場「漢字の多様性」
- 書く「記事を書く」
- 書く「お菓子作文創作」
- 書写「書きぞめ」
- 「ここにいる」を言う意味
- 書く「根拠をもとに意見文を書く」
- 古文「敦盛の最後」平家物語
- 短歌「短歌の味わい」
- 映像作品の表現を考える
- 評論「ガイアの知性」
- 話す・聞く「相違点を明確して聞く」
- 書く「年賀状の書き方」

3学期の学習

- 俳句「おーいお茶新俳句」
- 話す・聞く「よりよい結論を導く討論をする」
- 言葉と社会「社会生活と言語コミュニケーション」
- 文法の小窓「付属語のいろいろ」
- 詩「豚」
- 言葉の小窓「類義語・対義語・多義語・同音語」
- 書く「連作ショートショート」を書く
- 評論「学ぶ力」
- 小説「走れメロス」
- 漢字の広場「同音の漢字」

令和3年度 第2学年 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学年	2年	教科書	地理（新しい地理）東京書籍 歴史（新しい歴史）東京書籍 地図帳（中学校社会科地図）帝国	地理 アクティブ地理（浜島書店） 歴史 学び考える（浜島書店） 問題集 完全学習（正進社）
----	----	-----	---	---

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。2年では、地理的分野の半分と歴史的分野の明治時代までを学習します。

社会科の学習到達目標は、広い視野で社会の様々な事柄を読み取ったり、たくさんの資料を客観的に色々な角度から分析したりして、公正に判断する力を身に付けることです。

社会科の学習を通して、自分自身が今まで身に付けた「ものの見方や考え方」を振り返り、これから先の「生き方」や「ものの見方考え方」を再構築していく姿勢が大切です。

2 学習方法

「中学校の社会科は覚えることがいっぱいあっていやだなー」そんな声が聞こえてきそうですが、社会科の学習の目的は、細かいことがらをくり返し反復したり、暗記したりすることではなく、知識を関連づけたり、知識を構造化したりして、物事の本質を追究することです。

このことから、授業は、教卓の上から「教える」という姿勢ではなく、むしろ、各学習課題について皆さんと「いっしょに考えてみよう」という姿勢に立っています。

学習課題、「なぜ・・・だろうか」という視点、に立って追求していきますので、「どのような力を身に付けていくのか」が分かる授業になります。

家庭学習では、ぜひ、専用ノートを作り、授業で学んだところをまとめ直してみることをお勧めします。知識が整理され、覚えやすくなります。たとえば、歴史では年表にしてみるのも、歴史の流れがわかってよいと思います。

3 教師からのメッセージ

「社会科は、どうせ暗記科目だからテスト前に集中して覚えれば何とかなる」とか「歴史や地理そのものは好きなんだけど、どうも成績が思ったより低い」、「社会科の勉強はかなり時間をかけているが、点数があまりよくない」という人が結構います。

どうしてなのでしょう。そこで、地理的分野や歴史的分野をこれから学習するに当たって、留意しておくことを次に示します。

①自分の理解状態をつかむこと。

学習する時に大切なことは、いつも「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせる。

②学習したことどうしの関係をつかむこと。

学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。

③勉強がおもしろくなるような工夫をすること。

テレビのニュース、新聞などにできるだけなじんで、そのような話題を家族と話したりしましょう。社会の動きを知ることは、自分が将来、社会の中で何をしていきたいかを考える上でとても大切なことです。

4 学習内容

月	学習内容
4月	【地理】
5月	
6月	【歴史】
7月	
8・9月	【地理】
10月	
11月	【歴史】
12月	
1月	【歴史】
2月	
3月	

5 評価について

評定 5 → 全ての観点で A 評価
 4 → 最低 2 つ以上の観点で A 評価かつ C がない
 3 → C 評価が 1 つ程度
 2 → いずれかの観点で C 以外の評価がある
 1 → 全ての観点で C 評価
 ただし、これはあくまでも目安です。

観点	評価の観点	評価の場面・方法
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ○学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ○学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ○未到達な内容についてどれだけ努力できたか 	行動観察 ノート・プリント ワーク・プリント 行動観察 ワーク・プリント 行動観察
思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 ○課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 ○学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 ○思考を問う問題を解くことができたか。 ○調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。 ○調査した内容を工夫してまとめることができたか。 	プリント 授業 プリント 定期テスト・ワーク 行動観察 レポートや新聞
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の活用の方法を身につけることができたか。 ○さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。 ○資料を読みとる問題を解くことができたか。 ○知識・理解を問う問題を解くことができたか。 	行動観察・ワーク 行動観察・ワーク 定期テスト・ワーク 定期テスト・小テスト

朝霞第一中学校 第2学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 小テスト

- ・授業の初めの5分程度で計算問題に取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

② 確認テスト

- ・小單元ごとの区切りで、そこまでの授業の理解度を確認するためのテストを行います。希望者のみ再テストも実施しますので、満点を目指して取り組みましょう。

③ 単元テスト

- ・単元のまとめとして、単元テストを実施します。

④ ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでいると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書p.30, 31の参考例(マイノート)も見てみましょう。

⑤ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞きましょう。自分の考えが、より深くなります。

2. 提出物について

① ワーク

- ・定期テストごとに集めます。
- ・授業評価に加えます。ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】

- ・途中式を書くようにしましょう。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙をはさんでも構いません。
(提出するときは、別紙をはさんで提出。)

② テスト直しレポート

- ・定期テストはもちろん全員提出です。単元テストについても提出する場合があります。
- ・テストは何点とれたかも大切ですが、同じ問題が出たときに必ず解けるようにしておくことが重要です。

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点をA,B,Cの3段階で評価します。

A：十分満足できるもの　B：おおむね満足できるもの　C：努力を要するもの

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、自己評価カード、レポート等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A、B、Cで評価しています。

【評定について】

各評価の観点ごとA,B,Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAA→5　AAB→4　BBB→3　BCC→2　CCC→1

※総合的に判断しますのでA2つ、B2つでも異なる評定(例として3か4)になることもあります。

【学年評定について】

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価(A・B・C)と評定(5段階)を行います。

【1年間の学習内容】

1章　【式の計算】文字式を使って説明しよう

・単項式と多項式　・多項式の計算　・単項式の乗法と除法　・式の値　・式による説明　・等式の変形

2章　【連立方程式】方程式を利用して問題を解決しよう

・連立方程式とその解　・連立方程式の解き方　・いろいろな連立方程式　・連立方程式の利用

3章　【1次関数】関数を利用して問題を解決しよう

・1次関数　・1次関数の値の変化　・1次関数のグラフ　・1次関数を求めること
・2元1次方程式のグラフ　・連立方程式とグラフ　・1次関数とみなすこと　・1次関数のグラフの利用
・1次関数と図形

4章　【平行と合同】図形の性質の調べ方を考えよう

・多角形の角の和の説明　・平行線と角　・合同な図形の性質と表し方　・三角形の合同条件
・証明のすすめ方

5章　【三角形と四角形】図形の性質を見つけて証明しよう

・二等辺三角形の性質　・二等辺三角形になるための条件　・直角三角形の合同　・平行四辺形の性質
・平行四辺形になるための条件　・特別な平行四辺形　・平行線と面積

6章　【確率】起こりやすさをとらえて説明しよう

・ことからの起こりやすさ　・確率とその求め方　・いろいろな確率　・確率による説明

7章　【データの比較】データを比較して判断しよう

・四分位範囲と箱ひげ図

理科 2 学年

1. 学習目標および年間計画

- (1) 化学変化について理解するとともに、原子や分子モデルと関連付ける見方や考え方を養い、物質の成り立ちや化学変化のしくみに対する興味・関心を高める。
- (2) 生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解する。また、植物や動物のからだのつくりとはたらきを理解する。
- (3) 自然環境を保全し、生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。
- (4) 日常生活と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養い、電流とその利用に対する興味・関心を高める。
- (5) 観測記録や資料をもとに、気象要素と天気の変化の関係を見出す。その際、体験的な活動を通して、気象に関する興味・関心を高める。

理科 I		理科 II	
月	項目	月	項目
4	単元 1 化学変化と原子・分子 1 章 物質のなり立ち	4	単元 2 動物の生活と生物の変遷 1 章 生物と細胞
5	2 章 物質どうしの化学変化	5	2 章 植物のからだのつくりとはたらき
6	3 章 酸素がかかわる化学変化	6	3 章 動物のからだのつくりとはたらき
7 9	4 章 化学変化と物質の質量	7 9	4 章 刺激と反応
10	5 章 化学変化とその利用	10	単元 3 電気の世界 1 章 静電気と電流
11	単元 4 天気とその変化 1 章 気象の観測	11 12	2 章 電流の性質
12 1	2 章 雲のでき方と前線	1	3 章 電流と磁界
2	3 章 大気の動きと日本の天気	2	
3	総復習	3	総復習

2. 評価の観点・方法

① 知識および技能

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的な内容について基礎的な知識を身につけ理解を深められたか、および観察・実験の基本操作の習得、観察・実験の方法についての評価項目です。

○小テスト、定期テストおよび器具の扱い方、観察・実験の手順、データの正確さ、レポートの内容、実技テストなどからABCの3段階で評価します。

○レポート、小テスト、定期テストの得点などからABCの3段階で評価します。

② 思考力・判断力・表現力等

☆自然に関する事象や現象について、科学的に筋道をたてて考え、実験の結果を推察したり、結果から規則性や仕組みなどを見いだしまとめる力についての評価項目です。

◎観察・実験のレポートや授業の発言内容、テストの記述内容・正答率、プリントの記入状況などからABCの3段階で評価します。

③ 学びに向かう力、人間性等

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的内容について興味・関心を持ち、積極的に調べたり考えようとする態度についての評価項目です。

◎授業中の発言内容や授業への貢献度、集中度、ノートの記録状況(書き方、まとめ方)、観察や実験に取り組む態度、ワーク等の提出物からABCの3段階で評価します。

以上の3観点の評価を総合し、5段階で評定します。

3. 評定の基準

AAA	・・・5
AAB	・・・4
AAC、ABB、BBB、ABC、BBC	・・・3
BCC	・・・2
CCC	・・・1

4. 2学年理科の学習のしかた

- ① 理科の授業は自然現象の観察や実験が中心になります。積極的に実験器具や観察用具に触れ、興味・関心を高めながら授業に参加することが大切です。
- ② 実験・観察の目的をしっかりとおさえ、どこを見るのか、何のために行なうのか、どのような操作を行なうのかを聞きのがさないようにしてください。
- ③ 授業中に配布されたプリント類は、なくさないようにノートにきれいに貼り付けましょう。
- ④ 黒板に書いたことは必ずその時間にノートに記録しましょう。
- ⑤ 学習の定着を確認するために、適宜小テストを行います。小テストの中で自分の苦手を見つけ、少しずつでも確実に基礎学力を身につけていきましょう。
- ⑥ 授業の進度に合わせ、ワークを家庭学習として取り組みましょう。答え合わせは、解答とよく照らし合わせて、何が正解で、何が間違いなのかをよく確認することが大切です。

2年生 音楽について

◇ 学年目標 【豊かな響きの歌声をつくろう】

- ① 音楽活動の楽しさを通して、興味、関心を高め生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽を親しむ態度を身につける。
- ② 音楽の豊かさや美しさを感じ取り、表現の仕方を工夫する。
- ③ 積極的に音楽活動に取り組み、表現の技能を伸ばし、創意工夫をして表現する力を高める。
- ④ 様々な音楽に関心を持ち、音楽に対する理解を深め、鑑賞する能力を高める。

◇ 目標達成のために

- ・合唱に積極的に取り組み、豊かな表現力をつけよう。
- ・クラスやグループで音楽の活動をする時は、お互いの良さを認め合い、積極的に協力し活動しよう。
- ・音楽の発表や鑑賞曲を聴くときには、真剣に集中して聴き、音楽の良さを味わおう。

1. 学習内容

- ♪歌唱 混声三部合唱（ソプラノ・アルト・テノールによる構成）の楽曲が中心になります。学年が上がるにつれ、難易度の高い曲にも挑戦していきます。
- ♪器楽 器楽の教科書を中心に、アルトリコーダーの基礎・基本を学習し、美しい音色のリコーダー演奏を目指します。
- ♪鑑賞 音楽の教科書を中心に、音楽史上優れた作品や世界の音楽、日本の伝統的な音楽など幅広いジャンルを鑑賞していきます。

2. 評価について

評価の観点	十分満足=A	おおむね満足=B	評価の材料
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がない ・授業に遅れない。 ・精一杯歌い演奏する。 ・積極的意欲的に授業に取り組む。 ・提出物の期日を守る。 ・顕著な内容の感想を書いたり発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やることはやる、基本的な姿勢で臨む。 ・課題に真面目に取り組む。 ・提出物の期日を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・忘れ物 ・提出物 ・定期テスト
音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲のよさを感じ取り、雰囲気や強弱記号を生かした表現をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲のよさを感じ取り、表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・歌のテスト ・リコーダーのテスト ・定期テスト
表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱記号などの意味を理解し、表現に生かすことができ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な記号などの意味を理解し、表現に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の取組の様子 ・歌のテスト

	る。 ・パートの役割を理解し、正しい音程で歌い演奏できる。	ことができる。 ・おおむね正しい音程で歌い演奏できる。	・リコーダーのテスト ・定期テスト
鑑賞の能力	・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し音楽的知識を積極的に深めようとしている。 ・曲のよさや美しさなどを感じ取り、自分なりの感想を書いたり発表できる。 ・積極的、意欲的に鑑賞できる。	・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し、基本的な知識を身につけようとしている。 ・曲についての感想を書くことができる。 ・曲を味わおうと努力している。	・日常の取組の様子 ・鑑賞プリント ・定期テスト

*音楽科ではテストの点数だけでなく**日常の取り組みを重視**しています。

例えば、テストの点数がよくても日常の取り組みが悪ければ高い評価はつけられません。

(授業に取り組む姿勢・精一杯歌い演奏する・パート練習の取り組み方・遅刻、忘れ物をしない等)

テスト・日常の取り組み共に精一杯努力することが大切です。歌がうまい、下手はあまり関係ありません。とにかく一生懸命に授業に参加できることが大切です！

♪授業のルール♪

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 着席チャイム (遅刻厳禁) | 5. 授業中の私語厳禁 |
| 2. 挨拶をして入室・退室 | 6. パート練習など協力する |
| 3. 授業の始まりと終わりの挨拶 | 7. パートリーダーの指示に従う |
| 4. 返事をしっかり | 8. 動作の後は静かに
(静かにするまで待ちます…) |

授業の持ち物 (全て学校に置いていってOK)

- | | | |
|----------------|----------------|-------------------|
| 1. 教科書 (音楽・器楽) | 2. コーラスフェスティバル | 3. ファイル |
| 4. アルトリコーダー | 5. 筆記用具 | *これらすべてをケースに入れて持参 |

♪このクラスで作る音楽は今年1度限りです。全員で良い雰囲気です授業を進めていきましょう。

いつもやる活動は…ストレッチ・発声・校歌 (3番のみ)・「夢の世界を」です。

流れを覚えてスムーズに動けるようになりましょう。1年間よろしくお願いします。

令和3年度 美術科シラバス

学校教育目標

- ・ 自ら学ぶ生徒
- ・ 思いやりのある生徒
- ・ 健康につとめる生徒

美術科目目標

- ・ 楽しく美術を主体的に取り組む活動
- ・ 意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとする活動
- ・ 対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・ 作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動

生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

学習内容

A 表現	(1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能		(2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○	○	○

	1年	2年	3年
1 学 期	中学校美術の内容を理解し、表現することの楽しさや、素晴らしさを感じ取る。 自分らしい表現について考える。 しっかりと対象を見て描くことを通して本質を見極める目を養う。	奥行きや広がり空気感等、様々な感覚を大切にし、平面における立体表現を理解する。 自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマを踏まえ、自分らしさを表すための表現を工夫して制作する。	テーブルで使うもので実際に使えるものを作る。 鋳物の技法を使った工芸品の要素をもつものを作る。 平面のアイデアから立体に展開し、創造的な感覚や力を養う。
2	よさや美しさを発見しようとする気持ちを大切に	遠近法の描きかたを学習し、一点透視図法を使って	3年間の学校生活を振り返り、色彩豊かに自由な作品を

学期	し、物の見方、感じ方、対象の形、色彩など、特徴をとらえて自分らしく表現する。 アイデアスケッチから作品制作の流れを習慣付け、平面から立体への創造力を養う。	自分の部屋をデザインする。 自分らしく色彩豊かに平面構成をする。	作る。 自分らしい効果的な方法を用いて表現する。 スクラッチ絵画の特徴を生かして楽しみながら制作する。
3学期	木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫る、着色を施す等の技法を使って作品を自分らしく表現する。	版の種類を学習し、ステンシルを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。	卒業を控え、長く記念に残るものを作る。 身近なもののデザインに親しみを持つ。 マイオリジナルの缶バッチ製作を通じて自分らしさを表現する。

評価の方法

作品、授業の様子、制作活動の観察、作品制作の過程、生徒の活動の様子、
レポート制作、鑑賞プリントの記録

三つの達成目標の関わり

学力——制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。
規律ある態度——授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。

第2学年 保健体育科 学習案内

【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 5割以下⇒C

※観点別の内容について

◆知識及び技能

- ①学習カードの内容やルールを理解度
- ②それぞれの選択種目の技能チェック
- ③授業の観察（ゲームの様子等）
- ④確認テスト

◆思考力, 判断力, 表現力等

- ①体育授業の参加状況（服装等）
- ②学習カードの内容
- ③授業の観察（練習の工夫, 仲間へのアドバイス等）

◆学びに向かう力, 人間性等

- ①体育授業の参加状況（見学, 欠席, 忘れ物）
- ②カードの提出状況と内容
- ③授業の観察（声, 積極性）

※評定は、総合点で算出する。

※例年この流れで行っていますが、新型コロナウイルス対策や県の要請により変更がありえる。

【1学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
4月～	・体づくり運動 ※全学年必修 ・新体力テスト ※全学年必修 ・陸上競技（短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び） ・器械運動（マット運動・跳び箱運動） ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ）			保健
5月～				
6月～				

【2学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
9月～	・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ） ・球技Ⅰ（バレーボール・ハンドボール） ・陸上競技（長距離走） ・球技Ⅱ（ソフトボール） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス）			保健
10月～				
11月～				
12月～				

【3学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
1月～	・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス） ・球技Ⅱ（バスケットボール・サッカー） ・体育理論 ※全学年必修			保健
2月～				
3月～				

【家庭学習の仕方】

- ストレッチや筋トレ・ジョギング等に自主的に取り組み、体力の向上を図る。
- スポーツをテレビや生で観戦し、関心を高める。

令和3年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

2 学年

◆技術分野の目標◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

【学習内容】

技術分野の内容は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」で構成されています。

技術科では、一人ひとりに応じた学習ができるように、教材・教具を用意しています。

製図、製作、整備、操作などの実習にそれぞれの特徴を生かした実践的・体験的な学習活動を行います。

◆3年間での学習◆

1 年生	ガイダンス	生物育成に関する技術を利用した栽培	情報通信ネットワーク	
		材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作		合計 3 5 時間
2 年生		エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作		合計 3 5 時間
3 年生		プログラムによる計測・制御デジタル作品の設計・制作		合計 1 7 . 5 時間

【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、引火性液体、電気などを取り扱って実習するため、安全に十分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。

また、教科書、学習ノート、指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

【評価の観点・方法・基準】◆技術科では、次の3つの観点で評価をします。

(1) 「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

2年生後半技術は、生活の中でエネルギーがどのように役立っているか理解できるようにします。また、簡単な工具、はんだごてなどを使用して、エネルギーを変換して使用する「ものづくり」ができるようにします。

☆年間計画☆

月	章	学習内容	学習のねらい
10	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生での学習を知る ・ 電気エネルギーの利用について ・ いろいろなエネルギーについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の授業に見通しを持つことができる ・ 電気エネルギーをどのように変換しているか知ることができる ・ 電気に興味を持たせる
11	エネルギーI	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気エネルギーの道筋 ・ 電気エネルギーを供給する道筋について ・ 電柱から屋内までの道筋 ・ 電気エネルギーを安全に使うには 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な電気エネルギーを知ることができる ・ 電気エネルギーを供給する道筋を理解できる ・ 電気エネルギーの利用について理解し、活用できる
12		<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気回路について ・ 回路図を知る ・ いろいろな電気・電子部品（記号）を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気回路について基本的な知識を得ることができる ・ 回路図について理解する ・ 図記号を知り、構造図から回路図へ書き換えができる
1	用しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギーの変換 ・ 電気エネルギーの変換について ・ 動力、光、熱、情報伝達のエネルギー変換について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気エネルギーを複数のエネルギーに変換できることを理解する ・ 変換したエネルギーを生活に役立つ製品に活用できる
2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な電気製品の製作（LEDライト付きラジオの制作） ・ 半田付けの練習 ・ LEDライトの仕組みについて ・ ダイナモ・ソーラーでの発電について ・ 部品確認、組み立て ・ 回路計の使い方（動通試験、絶縁試験） ・ 電気機器の安全な使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具を活用し適切に使用できる ・ はんだ付けが適切にできる ・ 回路計を正しく使い動通試験、絶縁試験を行うことができる ・ ライトのしくみについて理解できる ・ 発電したり、電気を蓄える方法を理解できる ・ 部品を確認でき、最後まで組み立てができる
3		<ul style="list-style-type: none"> ・ CADを使用して回路図を書く仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CADの書き方について理解する
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球環境とエネルギーの利用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境の問題について考え、適切なエネルギー使用が考えられる

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「主体的に学習に取り組む態度」

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

②「思考・判断・表現」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「知識・技能」

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については、実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより評価します。

時間	学習内容	学習のねらい
3 5 時 間	食生活と自立 ○食品の選択と保存 ・食品の選び方 ・食品の表示と保存 ・調理の計画 ・包丁を上手に使う ・肉、魚、野菜を調理しよう ・食生活の改善 ○地域の食材とその調理 ・地域の食材と食文化 ・行事食や郷土料理	・食品の表示やマークの意味を理解し、食品を適切に選択することができる。 ・食材の調理上の性質を理解し、安全に調理する技能を身につける。 ・食生活をよりよくするための工夫が考えられる。 ・日本の伝統料理や行事食について調べ、家庭で調理を実践することができる。
	住生活と自立 ○快適に住まう ・住まいのはたらき ・安全な住まい ・快適な住まい	・住まいのはたらきを知り、安全で快適な住まい方を工夫することができる。 ・汚れに応じた清掃と手入れ、用具や溶剤の安全な取り扱いを理解する。
	身近な消費生活と環境 ○家庭生活と消費 ・生活に必要なものの流れ ○商品の選択と購入 ・商品購入のプロセス ・販売方法と支払い方法 ・消費生活のトラブルを防ぐ ・消費者の権利と責任 ・消費者を支えるしくみ ○環境に配慮した生活 ・環境への影響を考えた消費生活	・さまざまな情報の中から、信頼できる情報を見極め、かしこい消費者について考える。 ・契約の意味や、契約の解除についてなどの正しい知識を身につける。 ・環境に配慮した商品を選択することができる。

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

令和3年度 朝霞第一中学校 2学年英語科学習案内 (CAN-DO リスト)

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
特色	話すこと [やり取り] の活動の軸として、「フリートーク」を毎時間の帯活動として実施する。題材は、教科書の Small Talk のページを活用することとする。

①領域ごとの達成目標

Unit	U	Stage Activity ...	SA
Let's Listen ...	LL	Let's Talk	LT
Let's Read	LR	Let's Write	LW

Stage	聞く	読む	話す [やり取り]	話す [発表]	書く
1	クラスメートの予定や将来の夢などについての短いスピーチなどを聞いて、主な情報を聞き取ることができる。 U1, LL2, U3, SA1	クラスメートの予定や将来の夢など日常的话题について書かれたつながりのある文章を読んで、主な情報を読み取ることができる。 U3, SA1, LR1	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて、たずねたり答えたりすることができる。 U1, LT2, U3	自分の予定や将来の夢などについて、意見や理由を加えて発表することができる。 U1, U3, SA1	クラスメートの予定や将来の夢などについての短いスピーチなどを聞いて、主な情報を聞き取ることができる。 U1, LL2, U3, SA1
2	クラスで人気のあるものなどについてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL5, SA2	クラスメートが書いたポスターやまとまりのある物語などを読んで、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 U5, SA2, LR2	クラスで人気のあるものなどについて、情報や気持ちをたずねたり答えたりすることができる。 U6, LT3, LT4, SA2	クラスで人気のあるものなどについて、情報や自分の気持ちなどを整理して発表することができる。 U6, SA2	クラスで人気のあるものなどについてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL5, SA2
3	町のおすすめの場所などについてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL7, SA3	クラスメートの町紹介やまとまりのある説明文などを読んで、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 U7, SA3, LR3	自分やクラスメートの町のおすすめの場所などについて、たずねたり答えたりすることができる。 U7, SA3	自分やクラスメートの町のおすすめの場所などについて、自分の意見や理由を加えて発表することができる。 U7, SA3	町のおすすめの場所などについてのクラスメートの短いスピーチなどを聞いて、主な情報や大まかな内容をとらえることができる。 LL7, SA3
学年末	はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要をとらえることができる。	日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。(～350語程度)	日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	はっきりと話されれば、日常的话题について、話の概要をとらえることができる。

②単元の授業計画

4月	授業開き Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 A Trip to Singapore Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	これまでに学んだことを用いて、経験したことを話すことができる。 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。
----	---	--

5月	<p>Grammar for Communication 1 Learning HOME ECONOMICS in English Let's Listen 1 機内放送 Unit 2 Food Travels around the World Let's Talk 2 ていねいなお願い</p> <p>Grammar for Communication 2 中間テスト</p>	<p>機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。</p> <p>場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。</p>
6月	<p>学び方コーナー① Let's Listen 2 インタビュー</p> <p>Unit 3 My Future Job</p> <p>Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信</p>	<p>インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。</p>
7月	<p>Stage Activity 1 ↳A Message to Myself in the Future Let's Read 1 History of Clocks</p> <p>期末テスト</p>	<p>好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。 説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。</p>
8月・9月	<p>Let's Listen 3 天気予報 Unit 4 Homestay in the United States Let's Write 2 ホームステイのお礼状</p> <p>Grammar for Communication 4 学び方コーナー② Let's Listen 4 電車の運行情報</p>	<p>天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。</p> <p>お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。</p> <p>運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</p>
10月	<p>Unit 5 Universal Design</p> <p>Let's Talk 3 電車の乗りかえ Let's Listen 5 留守番電話</p> <p>中間テスト</p>	<p>身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。</p>
11月	<p>Unit 6 Research Your Topic</p> <p>Let's Talk 4 買い物</p> <p>Grammar for Communication 5 Stage Activity 2 ↳Research and Presentation</p> <p>学び方コーナー③</p>	<p>身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。</p> <p>クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。</p>
12月	<p>Let's Read 2 A Glass of Milk</p> <p>期末テスト</p>	<p>物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。</p>
1月	<p>Let's Listen 6 商品のコマーシャル</p> <p>Unit 7 World Heritage Sites</p>	<p>商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取ることができる。 各地の世界遺産を紹介することができる。</p>
2月	<p>Let's Talk 5 電話でのやり取り</p> <p>Grammar for Communication 6 Let's Listen 7 店内のアナウンス</p> <p>Stage Activity 3 ↳My Favorite Place in Our Town</p> <p>学年末テスト</p>	<p>自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。</p> <p>店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。</p>
3月	<p>Let's Read 3 ↳Pictures and Our Beautiful Planet</p>	<p>人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。</p>

③観点別評価規準と評価方法(＊)

	聞く	読む	話す [やり取り]	話す [発表]	書く
知識・技能	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動	単語や文章を正しく読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動	習った単語や知っている単語を使って、相手との会話を成立させようとしている。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	絵や図を用いて簡単な英語で説明することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	アルファベットや英単語、英文を書く際のルールを理解し、正しく運用できる。 ＊単語テスト ＊定期テスト ＊授業内での活動
思考・判断・表現	対話やスピーチなどを聞いて、それに関する質問に適切に答えることができる。 ＊定期テスト ＊授業内での活動	資料や文章を読み取り、それに関する質問に適切に答えることができる。＊定期テスト	問いかけに対し、適切に応答ができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	課題について、簡単な英語で発表することができる。 ＊スピーキングテスト ＊授業内での活動	課題について、つながりのある文章を書くことができる。 ＊単元テスト ＊定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	相手の話にうなずいたり、相づちを打ったりしながら、積極的に聞こうとする姿勢が見られる。 ＊授業内での活動	間違いを恐れず、しっかりと声を出して単語や文章を読むことができる。 ＊音読テスト ＊授業内での活動	AETやJTEと積極的に会話しようとしている。 ペアやグループでの活動に積極的に参加している。 ＊授業内での活動	間違いを恐れず、積極的に発言・発表しようとしている。 ＊授業内での活動	授業内で行われた課題に真剣に取り組み、期限を守って提出している。 習ったことを積極的に活用し、たくさん単語や文を書いている。 ＊ワークシート ＊提出物

観点別評価の評価規準

A : 85～100%達成(十分満足できると判断されるもの)

B : 50～84%達成(ほぼ満足できると判断されるもの)

C : 49%以下(努力を要すると判断されるもの)

＊達成率は、目安です。テストの平均点や問題のバランスにより多少変化します。

観点別評価と評定の対応関係 各4つの観点の合計から評定を算出します。

《評価の例》 Aを3点, Bを2点, Cを1点に換算する

AAA (9点) → 5 ＊達成度90%程度

AAB (8点) → 4 ＊達成度80%程度

ABB, BBB, BBC (7・6・5点) → 3 ＊達成度50%程度

BCC (4点) → 2 ＊達成度40%程度

CCC (3点) → 1 ＊達成度20%程度

④家庭学習のしかた

《聞く》

・単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。

①音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみる と、慣れてきたら方法を変えてみよう。
同じものを覚えるまで繰り返し聞いてみよう。

《読む》

- ・音読は、正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら、たくさん口を動かして、身体に英語をしみこませよう。

《話す》

- ・英語の勉強は真似をするところから。授業で覚えた英文を、先生の真似をしながら口に出してみよう。
- ・AETの先生に積極的に話しかけてみよう。

《書く》

- ・正しいスペルを覚えるには、口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら、家庭学習ノートに書いてみよう。その時に、青いペンを使うと集中力が増すとされています。見本を見なくても書けるようになるまで、繰り返し練習しよう。

⑤使用教材

- ①教科書（東京書籍 NEW HORIZON English Course 2）
- ②ファイル
- ③ワーク
- ④ノート

